




# 事業実施報告

事業名	平成 21 年度 自然観察会運営補助業務（発注者：財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構） Biyo センター自然観察会 第 2 回水質観察会		
日時	2009 年 8 月 22 日（土） 9：30～12：00		
場所	琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター		
概要	<p>「水を調べよう」をテーマに、小学生を中心とした子どもを対象にして、現地での採水と顕微鏡等を使用した水質調査、プランクトン観察を行った。琵琶湖、河川等の水質実態を知ると共に、生活排水を考慮した実験水作成し、これら汚れた水の実態から水を汚さないようにするにはどうしたらよいか、また、プランクトン観察からはその生態系を知ると共に、水質との関連とについても知ってもらう機会とした。</p>		
実施結果	<p>当日の参加者は 9 名(当日キャンセル 4 名)と少なかったが、水質測定更に顕微鏡でのプランクトン観察では、参加者に納得のいく形で説明等もでき、参加者からは好評であった。水質及びプランクトン観察では参加者が自分たちの観察結果の発表を行った。</p> <p>まとめでは、講師の先生より琵琶湖のアオコや淡水赤潮とミジンコ、プランクトンと水質等との関連等について説明があった。また、初めてプランクトンを見て、水の中にはプランクトンもいるんだとの感想を述べた子供もいた。</p> <p>アンケートでは、全員から「分かりやすかった」と回答があった。理由としてパケットの使いやすさやスタッフの説明が十分であったことが挙げられた。</p>		
資料	<p style="text-align: center;">透視度測定風景</p> 	<p style="text-align: center;">水質調査風景</p> 	<p style="text-align: center;">プランクトン観察風景</p> 
ふりかえり	<p>今回は参加者が少なかったため、全員が測定等のさまざまな体験ができ、それが良い印象にもつながっているように思われる。プランクトン観察は、初体験であったことや動物プランクトンには動きがあるので興味を持ってもらえたのではないだろうか。また、どれだけ見つけられるかの競争原理が働き、みんなが一生懸命行ったため、楽しさがでたように感じた。初めての人が図鑑頼りにプランクトンの名前まで出せるか不安もあったが、みんな熱心に観察しているのに驚いた。</p> <p>反省点・改善点は、以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休み期間や地域イベントの日等を考慮した開催時期の検討が必要。</li> <li>・ 内容面では、水質・プランクトンという勉強の要素が入ると、子どもに敬遠されることも考えられる。（実際に観察すると興味を持つのではと思う）</li> </ul>		
担当		田中	

